

組み立て

B-1 背もたれの取り付け方

本製品は「背もたれ」と「座面」がはずれた状態で梱包されています。チャイルドモード(本面C-1参照)や、ハイバックモード(B-D-1参照)で使用する場合、背もたれと座面を組み立てて使用します。

注意

- 組み立ての際は、製品の破損や床の傷つきを防ぐため、平らで柔らかい床で作業してください。
●組み立ての際は、周辺のものに気をつけ、指などをはさまないように注意して行ってください。
●組み立てた本製品を持ち運ぶ際は、図のように持ち、背もたれと座面の間に指などはさまないように注意してください。
※組み立てた本製品の背もたれと座面の接合部は前後に動きます。

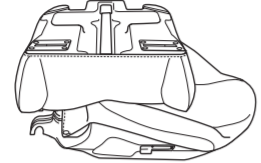


●ベルトなどを、背もたれと座面の間にはさまないようにご注意ください。

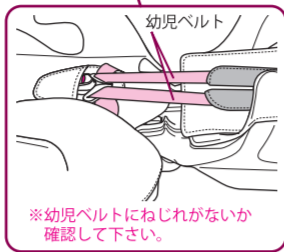
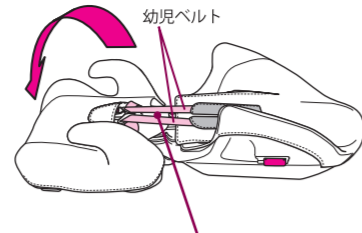
背もたれの取り付け

1 梱包状態から座面をひっくり返し右図のようにし、幼児ベルトにねじれないか確認する。

梱包状態

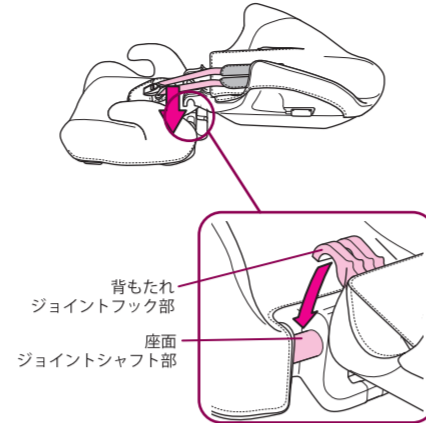


※座面は横向き、裏返しに梱包されています。



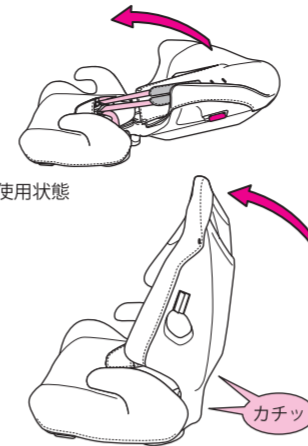
※幼児ベルトにねじれないか確認して下さい。

2 背もたれ下部のジョイントフック部を座面の後部のジョイントシャフト部に上から差し込む。



※取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

3 ベルト等をはさまないように注意しながら、ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。



■使用状態

注意

- ご使用前に、必ず次の内容を確認してください。本製品が本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
●お子さまを本製品に座らせる前に、背もたれと座面がしっかり接合されているかをご確認ください。
●チャイルドモードで使用する場合、アームレストの外側を幼児ベルトが通っていないかをご確認ください。
●幼児ベルト等が座面と背もたれのジョイント部にはさまれないかをご確認ください。

背もたれの取りはずし

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートの取り付け

警告

- ヘッドサポートは正しく取り付けでご使用ください。ベルトがゆるんでいた、ほどけていた状態での使用は危険です。

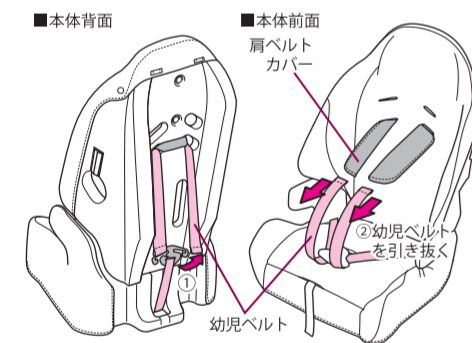
Step-by-step diagrams for headrest installation. Step 1: Connect the lower strap to the shoulder belt hole. Step 2: Connect the upper strap to the adjuster. Step 3: Pull the upper strap until it is taut. Step 4: Adjust the headrest position to fit the child's head. Includes diagrams for 'Body Back' and 'Body Front' views.

ヘッドサポートの取りはずし

C-1 使用前の準備

3 幼児ベルトを取りはずす。

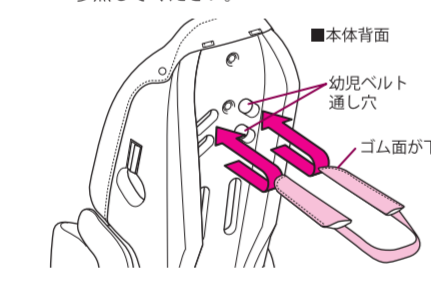
- ①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
②肩ベルトカバーから幼児ベルトを引き抜く。
※肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトを引いてください。



必ず肩ベルトカバーを使用してください。

4 肩ベルトカバーの位置を変える。

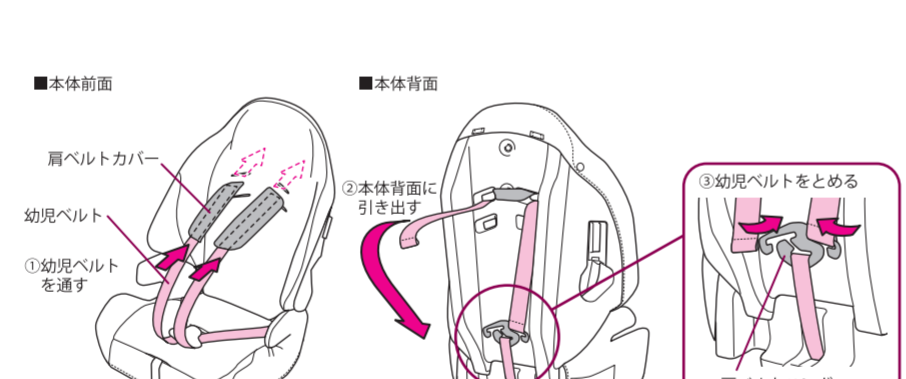
- ①本体背面から肩ベルトカバーを左右片方ずつ引き抜き、一度取りはずす。
※左右の肩ベルトカバーは、本体背面で接続ベルトにてつながっています。
②肩ベルトカバーを適切な幼児ベルト通し穴に通す。
※「幼児ベルトの高さ調節」(本面C-1-1)を参照してください。



●肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を幼児ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

5 幼児ベルトを取り付ける。

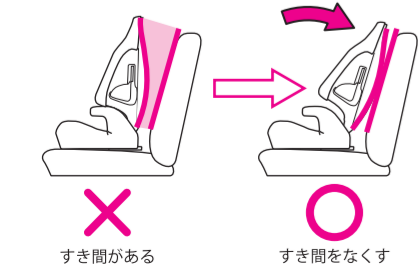
- ①幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれないように通す。
②本体背面に幼児ベルトを引き出す。
③左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。



C-2 車への取り付け方

2 車両の座席の背もたれと本製品との間に、すき間ができないよう調節する。

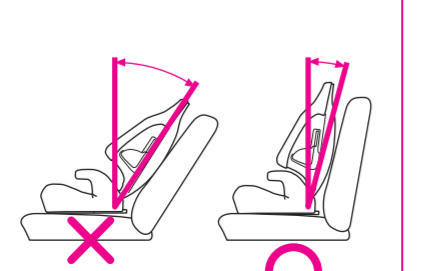
- 車両の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、座席との間にすき間ができないよう本製品の背もたれ角度を調節してください。



本製品と車両の座席との間にすき間があると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。

警告

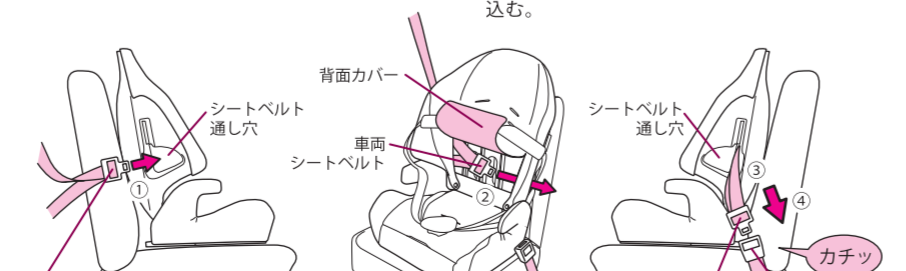
- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。



倒しすぎの背もたれ

車への取り付け方

- 1 車両シートベルトを取り付ける。
①車両シートベルトにねじれが発生しないよう、ゆっくりと引き出し、シートベルト通し穴に通す。
②背もたれの背面カバーをめくり、車両シートベルトがねじれていないことを確認する。
③車両バックルのタングを反対側のシートベルト通し穴から出す。
④車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



※取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

チャイルドモードの使い方 C-1 使用前の準備

Table with specifications for Child Mode: Weight (9kg以上~18kg以下), Height (70~105cm), Age (1才頃~4才頃), Usage (Use with vehicle seat belt).

幼児ベルトの高さ調節

Instructions for adjusting the child's seat belt height. Includes a diagram showing the shoulder position and a warning not to use the top hole if the belt is too long.

C-2 車への取り付け方

取り付けの注意
車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。
「取り付けできない座席」(A-6)を参照してください。

- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
●エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
※サイドエアバッグのみ装備されている場合は使用できます。
●車両シートベルトに傷があると、万のときにベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。その場合は他の座席に取り付けてください。
●車両シートベルト以外のひもなどは固定しないでください。
●お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておくください。
●後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降側には、緊急時の脱出確保のため、取り付けないでください。

Diagram showing the correct installation of the product in a car seat, including a warning to avoid the front passenger seat area.

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートは、チャイルドモード(本面C-1参照)でのみご使用できます。お子さまの体形に合わせ任意にご使用ください。

Diagrams and instructions for headrest use. Includes a warning to use it as a cushion and not to use it if it's loose. Shows diagrams for 'Headrest Surface' and 'Adjuster Surface'.

お子さまの肩の高さに合わせて、幼児ベルトを調節します。

Diagram showing how to adjust the child's seat belt height using the headrest's adjuster. Includes a warning to pull the shoulder belt cover and not to use the top hole if the belt is too long.

C-2 車への取り付け方

取り付けの注意
車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。
「取り付けできない座席」(A-6)を参照してください。

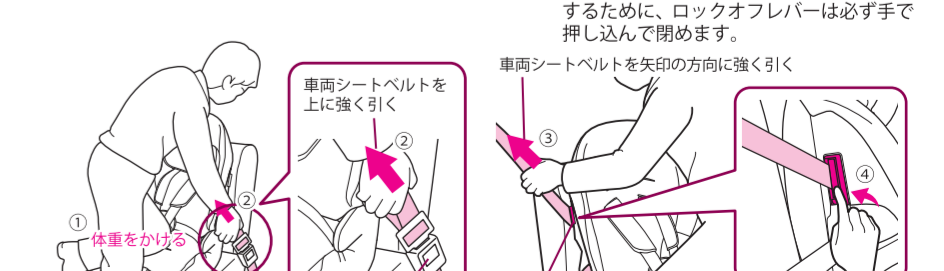
- チャイルドモードの際、取り付けの座席にスライド機能がある場合、取り付けが完了した後、座席を前にスライドさせると、よりしっかりと取り付けができる車両もあります。
①本製品を取り付ける前に、取り付け座席を一番後ろにさせます。
②取り付けが完了した後、取り付け座席を前にもどします。

Diagram showing the correct installation of the product in a car seat, including a warning to avoid the front passenger seat area.

C-2 車への取り付け方

3 車両シートベルトのゆるみをなくし、本製品をしっかりと固定する。

- ①座席の上から体重をかけて、本製品を車両座席に沈み込ませる。
②車両バックルの上の車両シートベルト(肩側)を強く引いて、車両シートベルト(腰側)のゆるみをなくす。
③ロックオフレバーの上の車両シートベルトを強く引いて、車両シートベルト(肩側)のゆるみをなくす。
④ロックオフレバーを手で押し込んで、車両シートベルトをしっかりと押しはさむ。



●体重をかけて沈ませたまま、②と③を同時に、ゆるみがなくなるまで繰り返します。
●車両シートベルト(肩側)をしっかりとロックするために、ロックオフレバーは必ず手で押し込んで閉めます。
車両シートベルトを矢印の方向に強く引く

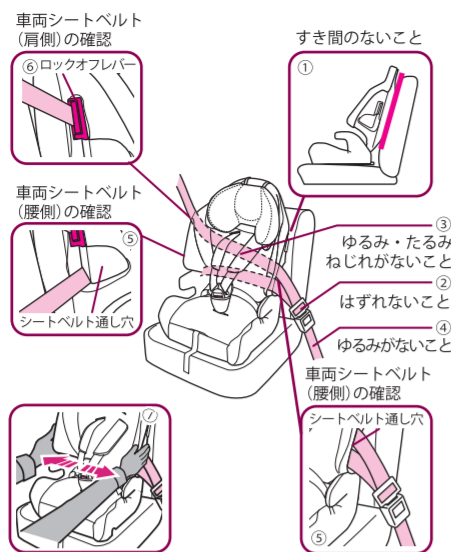
C-3 チャイルドモードの取り付け完了チェック

チャイルドモードの取り付け完了チェック

取り付けが完了した後、必ず確認してください。

- 1 本製品と車両の座席との間に大きなすき間がないこと。
2 車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
3 車両シートベルトが強く張られ、ゆるみ・たるみやねじれがないこと。
4 車両バックルベルトにゆるみがないこと。
5 車両シートベルト(腰側)が左右のベルト通し穴の下にかかっていること。
6 車両シートベルト(肩側)が、車両バックルと反対側のロックオフレバーで確実にロックされていること。
7 側面部分を持ち左右にゆすり、座面が大きく動かないこと。

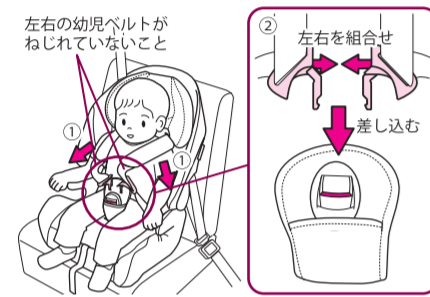
※構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。



C57-2

C-4 お子さまの座らせ方

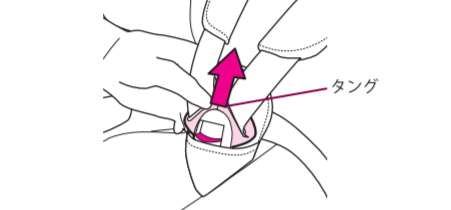
- 3 お子さまを座らせる。
1 お子さまを座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
2 タングを左右組み合わせ、バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。



警告 保護者の方が各部分に触れ、やけどなどをしないことを確認してください。

バックルのプレスボタンは、お子さまが誤って解除しないように固くしてあります。

- 3 タングを引っ張り確実に差し込まれたことを確認する。

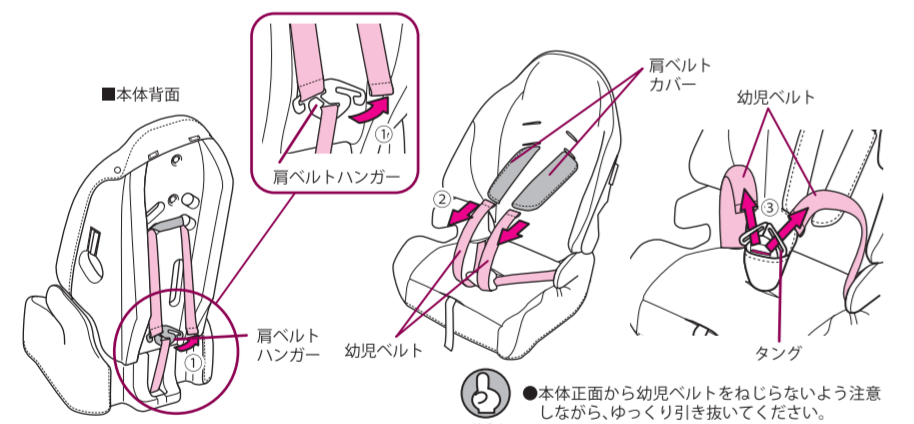


警告 左右のタンクが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首にかり窒息するおそれがあります。バックル部分は異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

バックルのプレスボタンは、お子さまが誤って解除しないように固くしてあります。

D-2 バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし

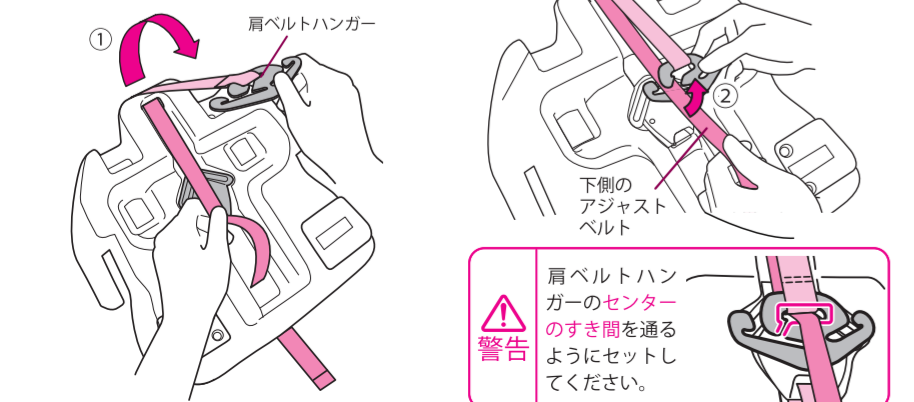
- 2 1 本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
2 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。
3 幼児ベルトをタンクから引き抜く。



*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

D-4 肩ベルトハンガーの収納

- 1 肩ベルトハンガーを底面にまわす。
2 下側のアジャストベルトを肩ベルトハンガーのセンターのすき間に通す。
3 肩ベルトハンガーをバックルの上に重ねながら、アジャストベルトを引く。



*取りはずしは、収納の逆の手順で行います。

肩ベルトハンガーのセンターのすき間を通るようにセットしてください。

警告 アジャストベルトはゆるみがないよう、充分引いてください。アジャストベルトがゆるんだ状態で使用すると肩ベルトハンガーがはずれ危険です。

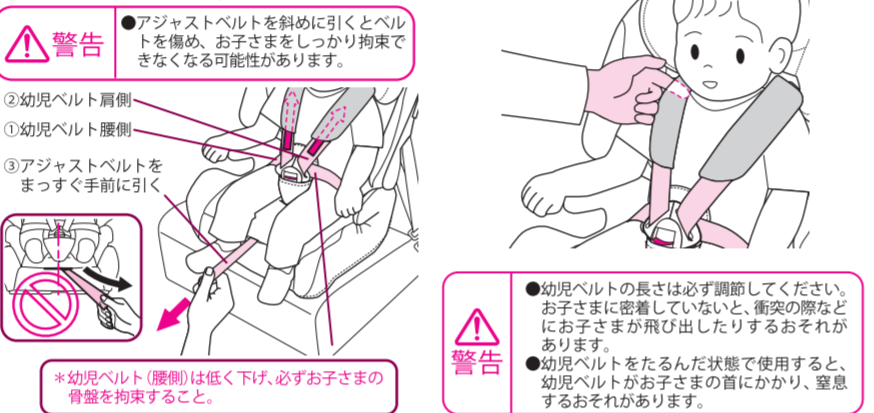
警告 車両バックルが製品本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。



*車両バックルベルトにゆるみがなく、本製品がしっかり固定されている場合は、車両バックルが製品本体にあたっていてもご使用できます。*ご不明な点は、当社のお客様相談室へお問い合わせください。

以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度2-2の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

- 4 幼児ベルトを調節する。
1 幼児ベルト(腰側)が腰骨のできるだけ低い位置にかかるように調整して、腰部に密着させる。
2 幼児ベルト(肩側)が肩の真ん中にかかるよう調整する。
3 アジャストベルトをまっすぐ手前に引き、幼児ベルトのゆるみをなくす。



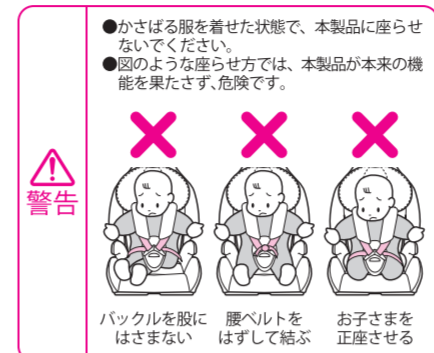
警告 アジャストベルトを斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

警告 幼児ベルトの長さは必ず調節してください。お子さまに密着していないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したりするおそれがあります。幼児ベルトをたるんだ状態で使用すると、幼児ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。

C-4 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

幼児ベルトの高さをお子さまの肩の高さに合わせてください。*「幼児ベルトの高さ調節」(2-C-1)を参照してください。



警告 1 幼児ベルトを引き出す。座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方(2本)の幼児ベルトを同時に強く引き、すべて引き出す。*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

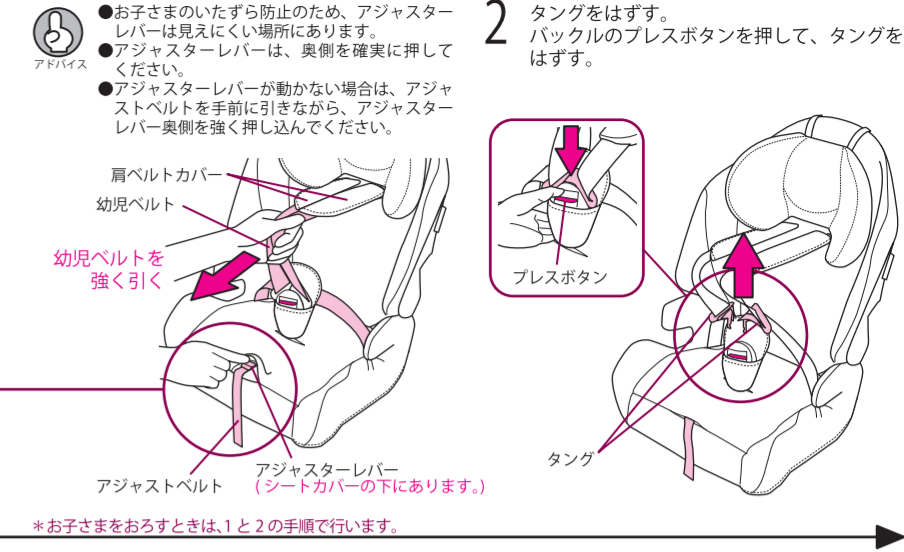
警告 2 タングをはずす。バックルのプレスボタンを押して、タンクをはずす。



警告 3 お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。

アジャスターレバーを押しながらアジャストベルト

幼児ベルトを長くする(お子さまをおろすときは)



*お子さまをおろすときは、1と2の手順で行います。

ハイバックモードの使い方 D-1 使用前の準備

Table with 2 columns: 使用前の準備 (Before use preparation) and 使用方法 (Usage method). It lists weight (15kg to 25kg), height (98-120cm), age (3-7 years), and usage instructions.

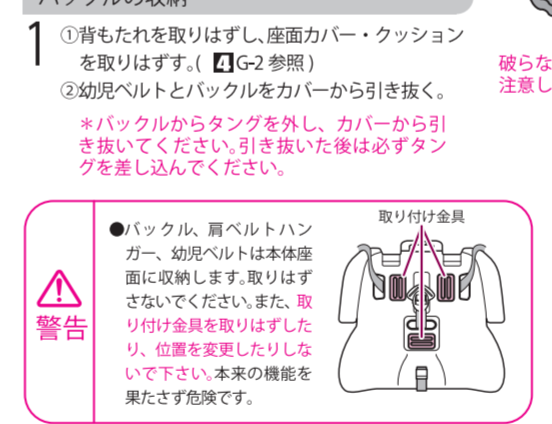


警告 1 肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が18kg以下の場合にはできる限りチャイルドモード(2-C-1参照)での使用をおすすめします。

警告 2 本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。*お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。*車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。*肩ベルトカバーがチャイルドモードで使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。ゆるみがないか確認してからご使用ください。*車両シートベルトに傷がある座席には取り付けしないでください。

D-3 バックルの収納

- 1 1 背もたれを取りはずし、座面カバー・クッションを取りはずす。(2-G-2参照)
2 幼児ベルトとバックルをカバーから引き抜く。*バックルからタンクを外し、カバーから引き抜いてください。引き抜いた後は必ずタンクを差し込んでください。



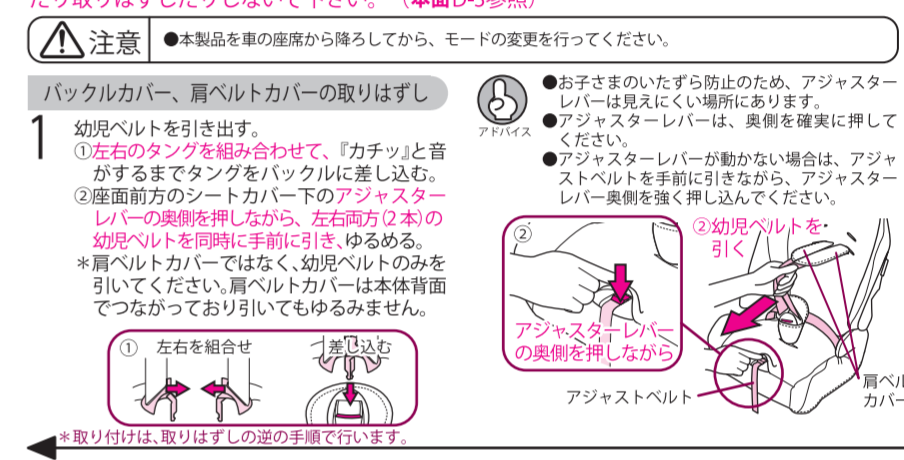
警告 *座面から背もたれを取りはずした状態(2-B-1参照)で、作業を行ってください。

警告 1 破らないように注意してください。

*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

D-2 ハイバックモードへの変更の仕方

ハイバックモードへの変更の仕方
チャイルドモード(2-1参照)で使用していた幼児ベルト、バックル、肩ベルトハンガーは本体に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具の位置を変更したり取りはずしたりしないでください。(本面D-3参照)



注意 *本製品を車の座席から降ろしてから、モードの変更を行ってください。

バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし

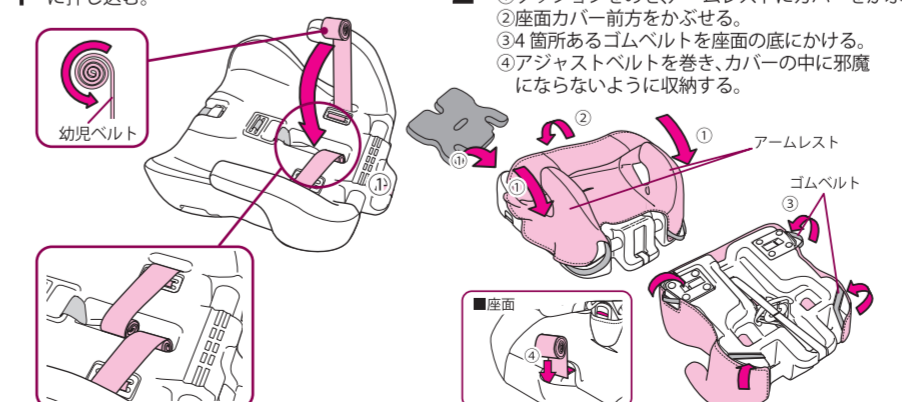
1 幼児ベルトを引き出す。
1 左右のタンクを組み合わせ、カチッと音がするまでタンクをバックルに差し込む。
2 座面前方のシートカバー下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方(2本)の幼児ベルトを同時に強く引き、ゆるめる。*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

2 幼児ベルトを調節する。
1 左右のタンクを組み合わせ、カチッと音がするまでタンクをバックルに差し込む。
2 座面前方のシートカバー下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方(2本)の幼児ベルトを同時に強く引き、ゆるめる。*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

D-5 幼児ベルトの収納

- 1 幼児ベルトを巻き、座面中央のベルト収納穴に押し込む。
2 クッション、座面カバーを取り付ける。(2-G-2参照)
1 クッションをせせ。アームレストにカバーをかぶせる。
2 座面カバー前方をかぶせる。
3 4箇所あるゴムベルトを座面の底にかける。
4 アジャストベルトを巻き、カバーの中に邪魔にならないように収納する。



座面から背もたれを取りはずし、座面カバーを取りはずしてから(2-G-2参照)作業を行います。

幼児ベルトの収納

クッション、座面カバーを取り付ける。(2-G-2参照)
1 クッションをせせ。アームレストにカバーをかぶせる。
2 座面カバー前方をかぶせる。
3 4箇所あるゴムベルトを座面の底にかける。
4 アジャストベルトを巻き、カバーの中に邪魔にならないように収納する。

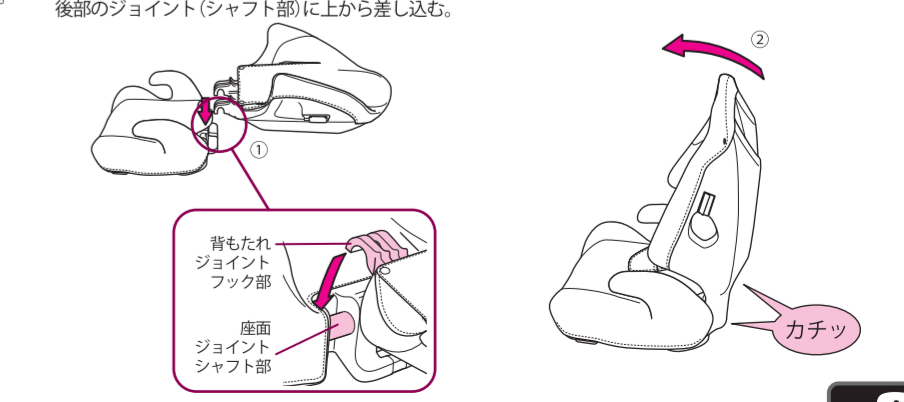
警告 1 幼児ベルトを巻き、座面中央のベルト収納穴に押し込む。
2 クッション、座面カバーを取り付ける。(2-G-2参照)
1 クッションをせせ。アームレストにカバーをかぶせる。
2 座面カバー前方をかぶせる。
3 4箇所あるゴムベルトを座面の底にかける。
4 アジャストベルトを巻き、カバーの中に邪魔にならないように収納する。

*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

幼児ベルトの取り出し

D-6 背もたれを取り付ける

- 1 背もたれを取り付ける。(2-B-1参照)
1 背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2 ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。



背もたれを取り付ける

背もたれを取り付ける。(2-B-1参照)
1 背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2 ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。

警告 1 背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2 ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。

*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

背もたれの取りはずし

D-7 車への取り付け方

車への取り付け方

- ①座席のヘッドレストをはずせる場合は、必ず②車両シートベルトの高さを調節できる場合は、ベルトポジショナーと同じか少し高い位置に調節する。(本面D-9参照)

警告

- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態を使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

2 本製品を車両の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。

- ①車両シートベルト(肩側)をベルトポジショナーに通す。(D-9参照)
- ②車両シートベルト(腰側)を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。
- ③車両バックルにタンクを「カチッ」と音がするまで差し込む。

警告

- ベルトポジショナーはハイバックモードで使用します。ブースターモード、チャイルドモードでは使用しないでください。

注意

- お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

D-8 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

以下の点に注意し、本製品に深く座らせてください。

警告

- 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをすることがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- 図のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。

注意

- 座面と背もたれの間を衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

一度タンクをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、「カチッ」と音がするまで差し込む。

警告

- お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

D-9 ベルトポジショナーの取り付けと調節の仕方

車両シートベルトがお子さまの肩の高さに合うように必ずベルトポジショナーを使用してください。

ベルトポジショナーの取り付け方

- ①ベルトポジショナーのベルトをベルトポジショナー通し穴に通し、ベルトの輪にくぐらせる。
- ②取り付けた根元が動かないように穴の一番上で固定します。
- ③左右一方の上段の肩ベルト通し穴と背もたれカバーを通し、ベルトポジショナーを正面側に出す。

ベルトポジショナーの調節の仕方

お子さまを深く座らせ、肩の高さに合わせてベルトポジショナーの位置を調節する。

長さの変更方

ベルトポジショナーの正しい位置

ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節する。

× 低すぎる ○ 肩と同じ高さ × 高すぎる

警告

- ベルトポジショナーの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせて高さ調節してください。

D-10 ハイバックモードの取り付け完了チェック

ハイバックモードの取り付け完了チェック

Check お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

- ①本製品と車の座席との間に大きなすき間がないこと。
- ②車両シートベルト(肩側)が、ベルトポジショナーを通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ④車両シートベルトのタンクがお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
- ⑤車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルトが左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

警告

- 以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度D-7～D-9の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。衝突の際、本来の機能を果たさず、危険です。
- お子さまを座らせるとき、後部が背もたれ上端より上に出る場合はハイバックモードでは使用しないでください。衝突の際、本来の機能を果たさず、危険です。ブースターモードでご使用ください。

■ブースターモードの使い方 E-1 使用前の準備

使用前の準備

体重	22kg以上～36kg以下
身長/めやす	117～145cm
年齢/めやす	6才頃～11才頃
使用方法	幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれを取りはずして座面のみ使用します。車両シートベルトでお子さまを直接拘束します。

●体重が22kg以上～25kg以下のお子さまは、ブースターモードでも使用できますが、車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかる場合があるため、ハイバックモード(D-1参照)のご使用をおすすめします。

警告

- 本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。
- お子さまが乗っていないときも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。
- 車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付シートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。シートベルトの種類と使用上の注意(1A5)を参照してください。
- 車両シートベルトがたるんだ状態で使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息をおそれがあり、危険です。ゆるみがないか確認してからご使用ください。
- 車両シートベルトに傷がある座席には取り付けしないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをすることがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。

E-2 ブースターモードへの変更の仕方/車への取り付け方

ブースターモードへの変更の仕方

- チャイルドモードから変更する場合、先にD-2～D-5の作業を行います。
- ハイバックモードから変更する場合、座面から背もたれを取りはずします。(D-6参照)

車への取り付け方

- ①座席のヘッドレストをはずしている場合は、取り付ける。
- ②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、**最低段まで下げる。**

警告

- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態を使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

2 座面を車の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。

- ①車両シートベルト(腰側)を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。
- ②車両バックルにタンクを「カチッ」と音がするまで差し込む。

注意

- お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

E-3 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

一度タンクをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、「カチッ」と音がするまで差し込む。

警告

- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上に出してください。

E-4 ブースターモードの取り付け完了チェック

ブースターモードの取り付け完了チェック

Check お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

- ①車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
- ②車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ④車両シートベルトのタンクがお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
- ⑤車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルトが左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

警告

- 以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度本面E-2～E-3手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。衝突の際、本来の機能を果たさず、危険です。

■チャイルドモードへの戻し方 E-1 幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

ハイバックモード(D-1参照)やブースターモード(本面E-1参照)から、チャイルドモード(E-2参照)に戻す場合、座面に収納されている幼児ベルトと肩ベルトハンガーを取り出し、セットします。

- 1 **※ハイバックモードの場合、座面から背もたれを取りはずします。** 座面カバーを取りはずし(本面G-2参照)、バックル、幼児ベルトの取り付け金具が正しい位置にセットしてあるか確認する。幼児ベルトをベルト収納穴から取り出す。
- 2 座面を裏返し、肩ベルトハンガーをはずす。

注意

- ※座面から背もたれを取りはずした状態で(E-2参照)、作業を行ってください。

アドバイス

- 肩ベルトハンガーがはずれにくいときは、アジャスターの奥側を押しながらアジャスターベルトをゆるめてからはずしてください。
- 肩ベルトハンガーの座面への収納の仕方は、E-4を参照してください。

3 バックルを満ちからはずし、ベルト収納穴を通して表に出す。

■座面底

■座面

4 ①バックルと幼児ベルトを座面カバーの穴に通す。

- ①バックルと幼児ベルトを座面カバーの穴に通す。
- ②座面カバーとウレタンを取り付ける。
- ③バックルカバーを取り付ける。

注意

- 一度タンクをはずしてください。

E-2 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け

チャイルドモード(E-2参照)で使用する場合、背もたれに幼児ベルトを取り付けます。

- 1 ①本体背面から、肩ベルトカバーをお子さまに適切な幼児ベルト通し穴に通す。
※幼児ベルトの高さ調節(E-2-1)を参照してください。
- ②肩ベルトカバーを背もたれ正面に引き出す。

■本体背面

注意

- この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(E-2参照)、作業を行ってください。

※ここからの作業は、バックルカバーと背もたれを取り付け(E-2参照)してから、行います。

- 2 ①幼児ベルトを左右の差込タンクに、**ねじれないように注意**しながら通す。

- ②幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれがないように通す。
- ③幼児ベルトを本体背面に引き出す。
- ④左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。

■本体背面

■幼児ベルト

注意

- 必ず肩ベルトカバーを使用してください。

■お手入れの仕方 G-1

ヘッドサポートの取りはずし

「ヘッドサポートの取り付けと使い方」(E-2参照)を参照してください。

背もたれカバーの取りはずし

あらかじめ、幼児ベルトを引き抜き(E-2参照)、座面から背もたれを取りはずしてから(E-3参照)、シートカバーを取りはずします。

- ①背もたれにある左右2ヶ所ずつ計4ヶ所のホックをはずす。
- ②背もたれカバーを取りはずす。

G-2

幼児ベルトの収納と取り出し

「ハイバックモードへの変更の仕方」(E-2)を参照してください。「幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し」(本面E-1)を参照してください。

バックル

ゴムベルト

背もたれカバー

G-2

座面カバーの取りはずし

①座面を裏返してゴムベルトをはずす。

- ②座面を表にし、座面後方からアームレストカバーを取りはずす。座面カバー全体を取りはずす。
- ③ベルト通し穴から幼児ベルトとバックルを引き抜く。

G-3

アームレスト

アームレスト

幼児ベルト

バックル

ゴムベルト

G-3

洗濯方法

- シートカバーなどの縫製製品の洗い方
- 中性洗剤を使用し水またはぬるま湯で押し洗ってください。
 - 塩素系漂白剤は使用しないでください。
 - 洗濯後は、脱水機、乾燥機はかけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
 - アイロン掛けはしないでください。
 - ドライクリーニングはしないでください。

日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります)
 - 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
 - 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
 - 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
 - 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。
- 警告**
- 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあり危険です。

H 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管

本体 長期使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かず、風通しの良い場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄

- お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外見に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ: W440×D460×H660
 製品重量: 本 体…4.6kg
 総 重量…5.9kg
 材 質: 本 体…PE
 シートカバー…表/ポリエステル 裏/ウレタン